

コンチェルト ゼフィロ  
～ スペイン黄金時代の歌 ～



Concerto Zefiro

2004年7月24日(土) 14:00  
清水町公民館ホール

主催 / 清水町教育委員会  
企画運営 / 特定非営利活動法人ウォーター・ビジョン



### Cançoner del Duc de Calabria

「カラブリア公爵家の歌曲集」

Soy serranica	私は山の娘
Ay, luna que reluzes	ああ、月が輝いて
Con qué la lavaré	どうしたら洗い落とせるのだろう
Si la noche haze oscura	夜がとても暗いので
Si la noche haze oscura (Diego Pisador)	夜がとても暗いので
La mañana de Saint Juan (D. Pisador)	サンフアンの朝
Spagnoletta	スパニョレッタ
Falalalan	ファラララン



### Cancionero de Palacio

「宮廷の歌曲集」

Gasajémonos de husía (Juan del Enzina [1469-1529])	命すりへらして
Dama, mi grande querer (Moxica)	ご婦人よ、私の大きな望みは
Una montaña passando (Garcimuñós)	山道を越えてゆくと
Por unos puertos arriva (A.Ribera)	峠までの暗い夜道
Romance:Una sañosa porfía (J.del Enzina)	ロマンセ：耐え難い怒りに
Oy comamos y bebamos (J.del Enzina)	今日は食べて飲んで



Sop	服部礼子	太田謡子	Mez	伊熊公子	和部幸代
Alt	川添圭子		Ten	真鍋 匡	田代憲孝
Bass	吉田 宏	市川行洋			

リコーダー	石和美和	ピウエラ/ルネッサンス・ギター	西野潤一
ヴィオラ・ダ・ガンバ	穴山 徹	チェンバロ/オルガン	杉山佳代
パーカッション	上遠野忍		
音楽監督/指揮	市川行洋		

イラストレーター：林 由紀子

## イベリア半島の歴史と音楽

現在のスペイン・ポルトガルのあるイベリア半島とアフリカは、ジブラルタル海峡を挟んで非常に近いところにあります。駿河湾を挟んで伊豆半島と静岡くらいの距離になります。

紀元 415 年に成立したキリスト教の西ゴート王国は、711 年アフリカからジブラルタル海峡を渡り侵入してきたムーア人とよばれるアラブ系のイスラム教徒たちと戦い、ロドリゴ王の戦死により短期間のうちに敗れ、滅びました。その結果アフリカから多くのムーア人と、それに混じってユダヤ人たちが移入してきて、イベリア半島はイスラム教の国となったのです。ムーア人たちは荒れていた土地に灌漑をし、野を耕し、盛んな商業活動をしてイベリア半島は栄えました。

このイスラム国家は宗教的には寛容で、キリスト教やユダヤ教も税金さえ払えば自由に信仰できました。コルドバにあるメスキータとよばれる数千人が入れるといわれる巨大な寺院の中では、区画を区切ってイスラム教、キリスト教、ユダヤ教の典礼が同時に行われていたといえます。

11 世紀になるとこのイスラム国家も内部分裂などによって弱体化してきます。半島北部に残ったキリスト教徒たちはレコンキスタとよばれる国土回復の戦いを繰り返し、徐々に自分たちの土地をとり戻していきました。そして 13 世紀には半島の殆どをとり戻し、南部のグラナダ王国のみがイスラムの国として残ることになりました。このグラナダ王国の中心がアランプラ宮殿です。

15 世紀のイベリア半島キリスト教国家は単一でなく、いくつかの小国家から成っていました。そのうち中央部カスティーリャ王国のイサベラ女王と東部のアラゴン王国のフェルナンド王が結婚し、1474 年にカスティーリャ・アラゴンの連合が成立することによりレコンキスタは急速に進みました。

カトリックとの戦いに敗れ、アランプラ宮殿を包囲されたグラナダの王は、1492 年についに宮殿を去り、グラナダ王国は崩壊し、レコンキスタは完成しました。実に 780 年の歳月でした。カトリック国となったスペインは厳しくイスラム教徒、ユダヤ教徒を弾圧し、半島から追放しました。

同じ 1492 年にはイサベラ女王の命により大西洋を渡ったジェノバ人コロンブス(イタリア名コロンボ、スペイン名コロソ)によるアメリカ発見という偉業が重なり、スペインは大発展をとげることになります。このときからおよそ 100 年間をスペインの黄金世紀 (Siglo de Oro) とよび、国力の増大とともに音楽・文学・演劇などの文化も発展を遂げることとなります。

イサベラ・フェルナンド両王は宮廷音楽家としてイタリア、フランス、フランドルからの移入音楽家を排し、スペインの音楽家のみを採用しました。貴族たちも王家に倣い、競ってスペイン人音楽家たちを雇い入れたため、この時代にスペイン音楽は急速に発展したのです。その音楽はこの地で演奏されていたアラブやユダヤの音楽の影響を受けたものでした。こうして、他のヨーロッパ諸国とは違う独特の音楽が生まれてきたのです。

少なくともルネッサンス時代前までは、アラブの文明はヨーロッパの文明を上回っていました。アラブの数学・化学・天文学・土木建築・兵器・文化などはヨーロッパ諸国に大きな影響を与えたのです。楽器でもギター、リュート、オーボエなど、元をたどればアラブに行き着くものが多くあります。

800 年近くこの半島にイスラム国家が存在したという事実がこの国の音楽に影響を与え、15~16 世紀のスペイン音楽には、アラブ的な旋律とヨーロッパの音楽が融合した独特の響きがあるのです。

(市川行洋)

## Concerto Zefiro

1951年に「みどり会合唱団」として杉山一郎氏により創立されました。1980年代に指揮者は市川行洋に引き継がれ、ルネッサンスのア・カペラの宗教曲やマドリガルを主として歌ってきましたが、1992年より古楽器による通奏低音を加え、レパートリーに初期バロック作品を含めるようになりました。1998年「コンチェルト ゼフィロ」と名称を変更し、現在は1パートが1～2名の少人数による古楽ヴォーカルアンサンブルとして活動しています。

つのだたかし氏、波多野睦美氏、牧野正人氏からルネッサンス・バロック時代にふさわしい発声法、歌唱法、音楽解釈などの指導を受け、また各メンバーは各種の古楽セミナーに参加するなど、この時代の演奏様式や発声法を追求しています。

また、バロック音楽に欠かせない通奏低音奏者として、古楽コンクール第一位を獲得し、地元沼津に拠点を定め活動しているチェンバロ奏者の杉山佳代を中心に、ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者の穴山徹(小田原市)、リュート奏者の西野潤一(岐阜市)もメンバーとして活動しています。これに加え今回はリコーダー奏者として石和美和さん、フラメンコギター奏者として活動している上遠野忍さんをパーカッション奏者として迎えました。

**Zefiro** はギリシャ神話の西風の神ゼピュロスのイタリア名ですが、西風をも意味します。西風はヨーロッパで春の訪れを告げる柔らかなそよ風です。イタリアのルネッサンス大詩人ペトルルカのソネット“*Zefiro torna*”(西風が戻ってきて)にちなみこの名称をいただきました。**Concerto** はイタリア語で小さな合奏団、合唱団を意味します。

- |                 |  |
|-----------------|--|
| 1992年10月31日(土)  | 「 <b>ダウランドとその周辺</b> 」 ダウランドの作品                             |
| 1993年10月9日(土)   | 「 <b>チューダー朝の音楽</b> 」 タヴァナー「西風のミサ」他                         |
| 1994年10月22日(土)  | 「 <b>巡礼の慰め</b> 」 ダウランド他                                    |
| 1999年5月1日(土)    | 「 <b>アリアンナの嘆き</b> 」他、モンテヴェルディのマドリガーレ<br>リュート奏者につのだたかし氏を迎える |
| 2001年11月18日(日)  | 「 <b>スペイン黄金時代の歌</b> 」                                      |
| 2003年6月28日(土)   | 「 <b>戦いと愛のマドリガーレ</b> 」 三島カトリック教会創立50周年記                    |
| 念2003年10月11日(土) | 「 <b>戦いと愛のマドリガーレ</b> 」<br>モンテヴェルディ2台のヴァイオリンと通奏低音付きマドリガーレ   |

ホームページ <http://www.zefiro.jp/>

Email [zefiro@zefiro.jp](mailto:zefiro@zefiro.jp)

演奏会の感想など、掲示板またはメールでお寄せください。